

年間第5主日（2月8日）

[説教]

私たち洛東ブロック共同体は今日、「洛東ブロック病者の日」として、こうして集まり、心を込めて、ともにミサをささげています。

今日の第二朗読で、使徒パウロは、自分自身の体験を分かち合っています。

「わたしは衰弱していて、恐れに取りつかれ、ひどく不安でした」と、はっきりと述べています。

パウロの言葉は、病気になった者の苦しみを表しています。しかし、パウロの、この苦しみの時は、「イエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていた」時でもあったのです。

「十字架につけられたキリスト」という言葉は、あの十字架刑の時のキリストだけを意味しているではありません。キリストが、今も、十字架につけられているということを表しています。私たちとともにおられるキリストは、今、十字架につけられているのです。

パウロは、自分の弱さに押しつぶされようとしていた時に、この「十字架につけられたキリスト」を宣べ伝えていたのです。

「優れた言葉や知恵を用い」ず、「生きること」によって宣べ伝えたのです。

「”靈“と力」という言葉の意味は、「キリストによって与えられる生きる力」という意味であると言えます。パウロは、キリストとともに、十字架につけられていたのです。コリントの教会の人々は、パウロの苦しみながら生きる姿に、「十字架につけられたキリスト」を見い出していたのです。

私たちも、今日、病気の苦しみの中にある人々の一人一人が、「十字架につけられたキリスト」であることを思い起ししましょう。

私たち教会は、病者のケアをしています。今日の共同祈願で、病者のために祈っていますが、だれかのために祈ることは、私たちができるケアの一つです。そして、病気で苦しんでいる人々も、祈りをささげてくれているということを思い出しましょう。

病気の苦しみの中でささげられる祈りは、十字架の上でささげられる祈りです。私たち教会を支える祈りです。私たちは、病者のために祈っているだけでなく、病者とともに祈っているのです。病気の苦しみの中でささげられる祈りに、心から感謝しながら、ともに祈っているのです。祈ってあげるのではなく、ともに祈るのです。

病気で苦しんでいる人々は、かわいそうな、あわれみの対象ではありません。ともに福音を宣べ伝える、今、「十字架につけられたキリスト」を宣べ伝えている姉妹兄弟なのです。

私たち教会は、病気で苦しんでいる人々のところに訪れます。訪れて、福音を分かち合ってもらいます。言葉だけによる福音ではなく、生きることによって、苦しむことによって証しされる福音です。私たちは、他の人々に、この福音を宣べ伝えるのです。

今日の福音で、主イエスは、私たちが、「地の塩」であり、「世の光」であると宣言しておられます。私たちは、日々祈る時、この世界の中で塩となります。

塩は、目立ちませんが、私たちのいのちを支えています。塩がなければ、私たちは生きることができません。祈りも同じです。今の世界で、祈りは目立ちません。熱心な、深い祈りほど、人目につくことはないのです。しかし、多くの人が祈っています。

ある女性は、次のように言いました。「他の人は、初詣の時しか神社に行かないけど、祈りというのには、時々することだと思うから、私は、月に二、三度、近くの神社に行って祈っています。」

私は、この言葉に、祈りの大きな力を感じました。教派や宗教の違いを超えて、たくさんの人が祈っているのです。特に、病気で苦しんでいる人々が、病者をケアしている人々が、心からの祈りをささげているのです。だから、さまざまな問題があっても、私たちは、ともに生きることができます。さらに、塩は、食べ物の腐敗を防ぎます。祈りも同じです。世界が間違った方向に進んで行くことを防ぎます。人々を回心させ、心を清めます。死を間近にしている人の祈りは、「生きる」ということが、当たり前のことではなく、聖なる出来事であることを、私たちに悟らせます。

祈りは、この世界の塩です。この世界のいのちです。私たちが祈り続け限り、この世界は滅びないのです。

今年の「世界病者の日」の教皇メッセージは、「よいサマリア人」を取り上げています。

このメッセージでは、サマリア人が、傷ついた人のケアを、自分の力だけでやり抜こうとせず、宿屋の主人の協力を求めていることが注目されています。私たちは、一人一人ばらばらではなく、共同体全体で、よいサマリア人になるように招かれています。

洛東ブロックの共同体として、一つになって、よいサマリア人的な共同体になっていきましょう。

その時、私たちは、この世界の中で光となるのです。私たち洛東ブロック共同体の「立派な行い」を見て、人々は、この世界に神がおられることに気づくのです。私たちの光に照らされて、よいサマリア人のように歩み始め、傷ついた人に気づき、協力して、動けない人のケアに取り組むようになるのです。

「飢えている人に心を配り／苦しめられている人の願いを満たすなら／あなたの光は、闇の中で輝き出で／あなたを包む闇は、真昼のようになる。」